

一度やたらくせになる?!

吸玉療法



オリンピックピックやパラリンピックの水泳などの選手が、背中に赤くて丸いあざをつけているのを見たことはありませんか？吸玉・吸角・カップリング・スクリュー・ケーションなどと呼ばれ、紀元前にはヨーロッパやエジプト、インド、中国でも行われていた療法で、日本でも日本書紀などに『すいふくべ』として紹介されています。江戸時代までは盛んに行われていたようです。素材は動物の角・竹・陶器・青銅・ガラス・プラスチックと時代とともに変わっています。

元々は蛇や虫の毒を吸い出すところから始まったのだらうとされています。体表を陰圧(内部の圧力が外部より低い状態)吸引することによって、毛細血管が拡張し、血液をきれいにする、血行をよくする。

○免疫力を高める
○皮膚を刺激し若さを保つ
○内臓機能を活性化する
○自律神経を整える
○セルライト※を除去する

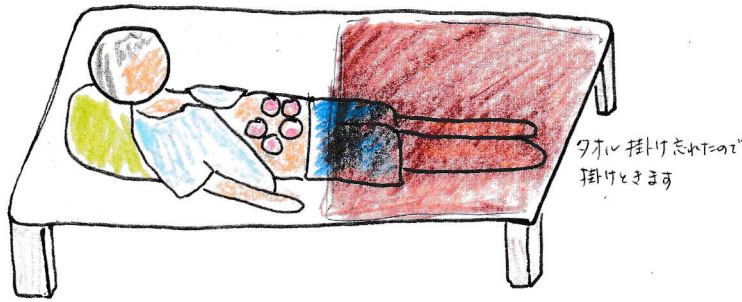
などの効果があるといわれています。

※セルライト
脂肪組織に線維化が生じ硬性をきたし、皮膚に凸凹となり、表皮の皮膚の状態

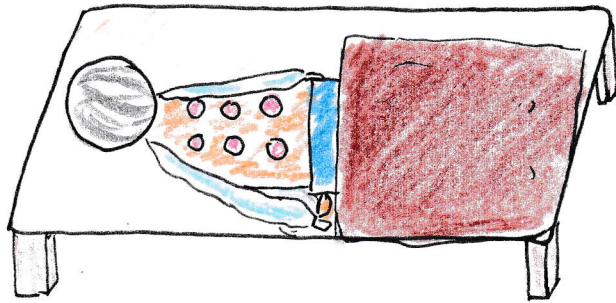
吸玉をすると皮膚が充血し赤い痕が残ります。血の巡りの良い箇所は鮮紅色で痕はすぐなくなります。血の巡りの悪い箇所は暗紅色暗紫色(瘀血斑)となつて、消えるまで1週間〜10日程かかります。この色の出具合いで、身体の状態がある程度わかりますが、何度か続けていくうちに色もきれいに痕が残りにくくなります。

マッサージ等に限らず、押さわれることはあつても、ひっぱりあげられます。何とも気持ち良いですよ。

どんなことをするの？



- ① 上半身は肌着も脱いで
専用の施術着に着替えます。
- ② 仰向けになり、腹部にホホバオイルを塗ります。(吸いつきやすくするため)その後、吸玉をのせていきます。数分後、外します。
- ③ うつ伏せになり、背中にも同様にのせていきます。
吸玉が隣り合うとひびく力が弱まったり、両方皮膚がひびくようになって痛くなることもあるので、間隔をあけて何度かに分けて施術します。
所要時間は約30分です。
当院ではその後、着替えていただき、推拿をします。



ガラスのカップの中に、一瞬だけ火を入れ、カップ内を陰圧にします。火が身体に触れるようなことはありません。中国では刺絡といって針で血を出させることもありますが、医療行為なので当院ではできません。

こんな方におすすめです
肩こり、腰痛、疲労回復、冷え性、代謝が悪い、自律神経の乱れ、全身が緊張して眠れないetc

中国での適応症

感冒、細菌性赤痢、ウイルス性肝炎、急性胃炎、慢性胃炎、急性胃腸炎、胃けいれん、胃下垂、アナフラキシー性腸炎、慢性非特異性潰瘍性大腸炎、十二指腸潰瘍、消化不良、神経性嘔吐、十二指腸狭窄、慢性肝炎、眩暈症、横隔膜けいれん、急性・慢性気管支炎、気管支喘息、狭心症、冠状動脈硬化症、高血圧症、発作性頻拍症、脳血栓症、脳血管不全症、片頭痛、神経衰弱、ヒステリー、肋間神経痛、坐骨神経痛、多発性神経炎、ギランバレー症候群、上腕神経叢の神経根痛、急性虫垂炎、急性膀胱炎、遺尿症、脱肛、リウマチ、寝ちがえ、肩関節周囲炎、月経痛、無月経、更年期障害、結膜炎、急性緑内障、メニエール、顔面神経麻痺、流行性耳下腺炎、じんましん、帯状疱疹、血管神経性浮腫etc

こんなときは控えてください

- 早急に外科手術を必要とするような急性疾患の場合
- 弁膜症など心臓や血管が正常でない場合
- 強度の全身性貧血の場合
- 極度に身体が衰弱している場合
- その他の急性伝染病や熱性病、きわめて悪化した慢性病の場合
- 妊娠中
- 食後すぐや激しい運動直後 (1時間あける)

参考文献

- ・東洋学術出版社「吸玉療法」王鳳儀・任煥朝著 浅川要訳
- ・Tにどこ書店 雑誌「何でもできる吸玉療法」宮本猪八著
- ・日本吸い玉協会 suidama.net
- ・神奈川衛生学園専門学校 keg.ac.jp
- ・持骨ネット「吸玉療法」judo-ch.jp
- ・カワムラ整体院 kawamura-seitai.net
- ・オリエントセラピースクール ots-pro.com